

## 平成 24 年 8 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までに、心肺停止と診断され、 当院へ搬送された患者さん方へ

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

### 【研究タイトル】

院外心肺停止患者\*1における、ドクターカーが神経学的予後へ与える影響の検討

\*1：院外心停止患者とは、病院外で突然心臓が停止して倒れた方のことです。

### 【研究背景・目的】

院外心肺停止（心臓機能・呼吸機能の停止）は現在でも生存率 10%程度とされており、社会復帰率は更に低いとされています。当院では院外心肺停止を含め、重症患者の報告が救急隊より入り次第、ドクターカー（医師・看護師・救急救命士）を現場へ送るシステムを構築しています（9 時～18 時）。これにより、少しでも早く医師が患者さんに接触し、より良い医療を提供することで院外心肺停止となった患者さんが社会復帰できる可能性があがると期待されます。本研究では当院へ搬送された院外心肺停止患者さんでドクターカーが出動したことにより社会復帰率が改善するかについて検討しました。

### 【情報提供期間】

この研究期間は、平成 29 年 3 月 22 日から平成 29 年 12 月 31 までです。

### 【研究対象】

- ・対象者数 : 429 症例
- ・対象期間 : 平成 24 年 8 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までの上記患者さん
- ・対象者 : 目撃のある院外心肺停止患者で当院へ搬送された患者さん
- ・取得情報 : 年齢、性別、レントゲンや CT などの画像情報、心肺停止に陥った場所・時間、初期波形、AED や除細動器の使用の有無、心肺停止から心肺蘇生開始・救急隊接触・医師接触・病院到着・自己心拍再開までの時間、高度な気道確保の有無、病院到着前の自己心拍再開、心肺停止から 30 日後の神経学的予後、1 年後の神経学的予後

## 【研究方法】

目撃者のいる院外心肺停止患者で飯塚病院へ搬送された症例について、ドクターカーが出動した症例と、出動しなかった症例において、社会復帰率に影響を与えるか、統計学的手法を用いて分析を行いました。

年齢、性別、心肺停止の原因、心肺停止に陥った場所、心肺停止となってから救急隊接触・医師接触・当院到着・自己心拍再開までの時間、気道確保の有無などを検討に含めています。

## 【研究対象となる患者さんへの利益・不利益】

利益：本研究により対象となる患者さんが直接受けることができる利益はありません。

しかし、本研究の目的とするところが明らかになれば、院外心肺停止の再発時の対応等、将来、社会的な利益につながるものと考えられます。

不利益：本研究は観察研究であり、通常診療により得られた情報のみを用い行われます。したがって、対象となる患者さんは当研究により、特別な不利益が生じることはありません。

## 【利益相反について】

本研究は飯塚病院循環器内科の自主研究として実施するものであり、企業やその他、外部からの資金提供はありません。しかしながら、研究に参加する医師のなかには、この研究以外において外部から研究資金、講演会講師料、旅費等を受けている者もいます。この研究は「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」に基づき飯塚病院倫理委員会の承認を受けて適正に行われます。資金の提供があつたとしてもそれが研究の結果に影響を及ぼすことはありません。研究資金が必要な場合は、飯塚病院の研究費、もしくは研究者らの費用で賄われます。

## 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があつた場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

## 【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 循環器科 堤孝樹

研究分担者：飯塚病院 循環器科 円山信之、今村義浩、山田明  
救急部 奥山稔朗

# ih 飯塚病院

innovate and evolve

## 【問い合わせ先】

〒820-8505

福岡県飯塚市芳雄町 3-83

飯塚病院 循環器科 堤孝樹

TEL : 0948-22-3800 (代表)